

小児感染症の第14週(平成20年3月31日から平成20年4月6日)の集計結果

コメント

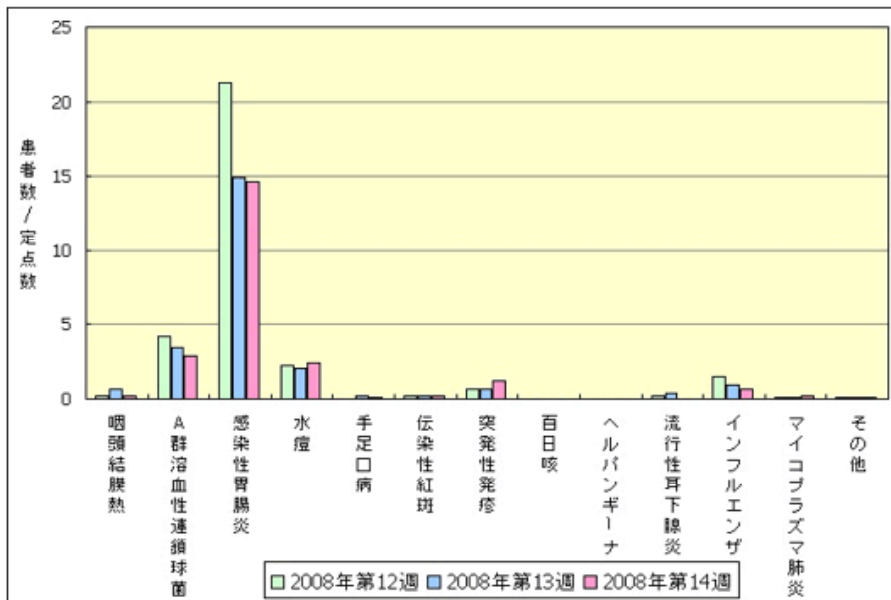
【今週の傾向】

- A群溶血性連鎖球菌は徐々に減少してきました。
- 感染性胃腸炎は減少傾向でしたが、今週は先週とほぼ横ばいの報告数です。
- インフルエンザはさらに減少し、定点あたり0.6人の報告数となりました。

[▣ 対象疾患ごとの発生状況](#)

[▣ 小児感染症週報](#)

[▣ 風しん・麻しん発生状況](#)



第14週疾患毎発生状況グラフ

	2008年 第9週	2008年 第10週	2008年 第11週	2008年 第12週	2008年 第13週	2008年 第14週	中央北 部	西部	東南部	みなみ 野
咽頭結膜熱	4 ↓	8 ↑	4 ↓	2 ↓	8 ↑	3 ↓	1	0	1	1
A群溶血性連鎖球菌	65 ↓	49 ↓	82 ↑	54 ↓	45 ↓	37 ↓	14	7	6	10
感染性胃腸炎	325 ↑	387 ↑	388 ↑	277 ↓	194 ↓	190 ↓	75	31	54	30
水痘	27 ↓	32 ↑	25 ↓	29 ↑	27 ↓	31 ↑	11	6	6	8
手足口病	0 ↓	2 ↑	1 ↓	0 ↓	3 ↑	1 ↓	1	0	0	0
伝染性紅斑	4 ↓	1 ↓	6 ↑	3 ↓	3 →	3 →	2	0	0	1
突発性発疹	10 ↑	12 ↑	10 ↓	9 ↓	8 ↓	16 ↑	6	2	4	4
百日咳	0 →	1 ↑	0 ↓	0 →	0 →	0 →	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	1 ↑	0 ↓	0 →	0 →	0 →	0 →	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	1 ↓	4 ↑	3 ↓	3 →	5 ↑	0 ↓	0	0	0	0
インフルエンザ	58 ↓	59 ↑	34 ↓	20 ↓	12 ↓	8 ↓	3	0	5	0
マイコプラズマ肺炎	1 ↓	4 ↑	2 ↓	1 ↓	1 →	2 ↑	1	0	1	0
その他	3 ↓	3 →	2 ↓	1 ↓	1 →	1 →	1	0	0	0

第14週疾患毎発生状況表

	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	マイコプラズマ肺炎	その他
～5ヶ月	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～11ヶ月	1	0	16	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0
1歳	0	4	28	4	0	0	5	0	0	0	1	0	0
2歳	0	0	23	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0
3歳	0	5	17	7	0	0	0	0	0	0	1	1	1
4歳	1	7	22	5	1	0	0	0	0	0	1	0	0
5歳	1	3	13	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0
6歳	0	6	14	3	0	1	0	0	0	0	1	1	0
7歳	0	7	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8歳	0	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9歳	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
10～14歳	0	1	12	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
10～12歳											1		
13～14歳											0		
15～19歳	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
20歳以上	0	1	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	37	190	31	1	3	16	0	0	0	8	2	1

第14週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- みなみ野
由井事務所